

2015年3月6日
華為技術日本株式会社

ファーウェイ、LTE Cat4 CarFi を MWC2015 にて発表

便利で洗練された、4G LTE 対応の車載用モバイルホットスポット

本参考資料は 2015 年 3 月 3 日にスペイン・バルセロナで発表されたプレスリリースの翻訳です



世界有数の ICT ソリューション・プロバイダーであるファーウェイ(中国語表記:華為、英語表記: HUAWEI)は本日、4G LTE 対応の車載用 Wi-Fi デバイス、『Huawei CarFi』を発表しました。耐久性が高い最高級素材を採用し、ゴルフ用クラブの優雅なラインからデザインの着想を得た本製品は、車を日常生活における便利な Wifi ホットスポットに変身させます。最大 150 Mbps のダウンロードスピードを提供し、最大 10 種の端末が接続できる『Huawei CarFi』は、車両を問わず簡単にセットすることができます。イノベーションがいかに消費者に利便性をもたらすかを体現するために、ファーウェイはモバイル・ワールド・ कांग्रेस(MWC)2015 の開催期間中、スペイン・バルセロナ内における 400 台のブランド車に『Huawei CarFi』を提供し、乗客が移動中も簡単にインターネット接続ができる環境を提供しました。

ファーウェイ・コンシューマー・ビジネス・グループ のモバイル・ブロードバンドとホームデバイスにおけるバイス・プレジデント、スティーブン・リウ(Steven Liu)は述べています。

「ファーウェイは、生活のあらゆる場面におけるインターネット接続のニーズに素晴らしい技術で応える、常に一歩進んだ存在であることを目指しています。次世代 LTE ネットワークを提供するモバイルブロードバンドのリーダーとして、『Huawei CarFi』のように端末を通じて人々が移動中も自由につながる喜びを提供して参ります。

『テレマティクス』として知られる車両のインターネット接続は業界における顕著なトレンドであり、今後人々に安全性と利便性をもたらし、情報エンターテインメントを提供していくでしょう。」

車内の情報エンターテインメントシステムにおける Wi-Fi の普及は重要なトレンドになることが予想されます。このトレンドにいち早く応え、大きなビジネスポテンシャルとチャンスを得るため開発された『Huawei CarFi』は超高速な LTE Cat4 に対応し、業界を先導するスピードである 150Mbps を誇り、最大 10 人までの乗客がネットワークに迅速かつ容易にアクセスすることができます。車内のインターネット接続によって得られるサービスや機能は多数あり、パーキングアシスト、緊急救助、車両問題の診断、ハンズフリー音声認識、高速道路状況のリアルタイム更新、そしてドライバーの運転パターンの識別などが挙げられます。

Wi-Fi に対応したデバイスが認識されなかった場合は、『Huawei CarFi』の電源は自動的に落ちますが、車のエンジンがかかっている限り、他の電化製品への充電に使用することができます。『Huawei CarFi』には高温気候下によるオーバーヒートを保護するバッテリーではなく、必要な時にデバイスの温度を自動的に下げる内蔵式の温度自動調節機能が搭載されています。

車内のシガーソケットまたは車内充電器の差込口に収まる『Huawei CarFi』は、安全運転と利便性を確保するために、「オン」ボタンを一度長押しするだけで電源が入る「プラグアンドプレイ」機能が特徴となっております。また、主要なアプリストアを通じて Android や iOS スマートフォンに『Huawei Hilink』アプリをダウンロードすると、スマートフォンでの遠隔操作も可能となります。

日常使用に耐えうるよう、特に上質な木材とカーボン繊維を採用した『Huawei CarFi』は繊細な職人技が細部で光る、優雅で洗練されたデザインを実現しました。一般的な車のインテリアに馴染むよう、カラーバリエーションは 3 色展開しており、ファッションエリートブラック(黒)、ウォームファミリーウッド(温かみのある茶色)、ダイナミックスピードレッド(赤)からお選びいただけます。

イギリスでは 2014 年 11 月から、オペレータの EE 様を通じて『Huawei CarFi』を提供しており、2014 年 12 月からは西ヨーロッパでもオープンマーケット製品として流通しております。日本では、ワイモバイル様より、『Car WiFi 404HW』として、この春発売予定です。車内充電器と車内用シガーソケットを装備したすべての主要自動車メーカーのモデルに対応しています。